

東三河森林計画区

第五次国有林野施業実施計画書

計画期間
自 平成30年 4月 1日
至 平成35年 3月31日

林野庁中部森林管理局

この国有林野施業実施計画（以下「本計画」という。）は、国有林野管理経営規程に基づき、国有林の地域別の森林計画及び地域管理経営計画に即し、森林管理局長が森林計画区域内の管理経営する国有林野の箇所別の伐採、更新等について5年ごとにたてる5年間の計画である。

この本計画の計画期間は、平成30年4月1日から平成35年3月31日までの5年間である。

目 次

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量	1
(1)	伐採造林計画簿	1
(2)	水源涵養 ^{かん} タイプにおける施業群別面積等	1
(3)	水源涵養 ^{かん} タイプの施業群別の上限伐採面積	3
(4)	伐採総量	4
(5)	更新総量	5
(6)	保育総量	6
3	林道の整備に関する事項	7
4	治山に関する事項	8
5	保護林の名称及び区域	9
6	レクリエーションの森の名称及び区域	9
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域等	11
8	その他必要な事項	12
(1)	施業指標林、試験地等	12
(2)	フィールドの提供	15
(3)	森林共同施業団地	16

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域
国有林野施業実施計画図による。

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量
並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿に示すとおりである。

(2) 水源涵養^{かん}タイプにおける施業群別面積等

(単位：h a、年)

施業型	施業群	面積	施業の方法等		伐期齢 又は 回帰年
			施業方法	目標とする森林	
単層型 (短期)	小面積 分散伐区 枝打	134.33	育成 単層林 施業	伐区を縮小、分散化させることにより、小流域単位で見た時にモザイク的配置となり、林齢、林相が異なる多様な森林で、枝打により材の付可価値を高めた林木からなる森林。	スギ 50 ヒノキ 50
	小面積 分散伐区	1,913.88	育成 単層林 施業	伐区を縮小、分散化させることにより、小流域単位で見た時にモザイク的配置となることで、林齢、林相が異なる多様な森林。	スギ 60 ヒノキ 65 カラマツ 60
(長期)	長伐期	338.70	育成 単層林 施業	主伐を標準伐期齢のおおむね2倍以上の林齢において行い、成長の旺盛な時期から主伐までの間に成長に応じた間伐を繰り返し、下層植生の発達した森林。	スギ 120 ヒノキ 130
複層型	人工林 複層伐 (常時複層)	351.02	育成 複層林 施業	人工林において、複層伐により部分的に伐採し、人為による複層林化を図った複数の樹冠層を構成(階層構造)する森林。	スギ 120[60] 85[60] ヒノキ 130[65] 90[65]
	(一時単層)				スギ 80[60] ヒノキ 85[65]

施業型	施業群	面積	施業の方法等		伐期齢 又は 回帰年
			施業方法	目標とする森林	
複層型	人工林 長伐期 複層伐	974.54	育成 複層林 施業	木曾ヒノキの代替材を生産する人工林で、複層伐により部分的に伐採し、人為あるいは天然力により複層林化を図り、複数の樹冠層を構成（階層構造）する森林。	ヒノキ 180[150]
漸伐 複層型	人工林 漸伐 複層型	257.33	育成 複層林 施業	人工林又は天然林において、漸伐により部分的に伐採し、人為あるいは天然力による複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林。	N 80
	天然林 漸伐 複層型	5.43			N 200 L 180
択伐 複層型	人工林 択伐 複層型	956.86	育成 複層林 施業	人工林又は天然林において、択伐により部分的に伐採し、人為あるいは天然力による複層林化を図った複数の樹種及び樹冠層を構成（階層構造）する森林。	N 85 (35)
	天然林 択伐 複層型	204.62	育成 複層林 施業 及び 天然生林 施業		N 200 (35) L 180 (25)
その他		91.36	試験地等の設定目的による。		
合計		5,228.07			

(注) 1 林地以外の土地の面積は含まない。

2 () は回帰年、[] は初回伐採の伐期齢である。

3 人工林複層伐の常時複層状態となるタイプの二段書きは、後伐の伐期齢を二通り設けたものである。

(3) 水源涵養^{かん}タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：h a)

施 業 群	上 限 伐 採 面 積
小 面 積 分 散 伐 区 枝 打	13.43
小 面 積 分 散 伐 区	147.22
長 伐 期	13.02
人 工 林 複 層 伐	42.29
人 工 林 長 伐 期 複 層 伐	54.14
漸 伐 複 層 型	6.56
択 伐 複 層 型	165.92

(注) 1 上限伐採面積は、計画期間（5年）分の面積である。

2 契約に基づいて主伐を実施する分収林が含まれる場合は、上限伐採面積を超えて定めることができる。

(4) 伐採総量

(単位：m³、ha)

区 分		林 地					林地 以外	合 計
		主 伐	間 伐	小 計	臨 時 伐採量	計		
山地災害 防止タイプ	土砂流出崩壊防備	(5.86) 1,529	(60.96) 8,996	10,525				
	気 象 害 防 備							
	計	(5.86) 1,529	(60.96) 8,996	10,525				
自然維持タイプ								
森林空間利用タイプ			(114.87) 13,777	13,777				
快適環境形成タイプ								
水 源 かん 涵 養 タ イ プ	小面積分散伐区枝 打	(7.74) 3,707	(25.80) 4,391	8,098				
	小 面 積 分 散 型	(93.84) 48,421	(296.93) 42,319	90,740				
	長 伐 期		(16.41) 2,241	2,241				
	人 工 林 複 層 伐		(136.47) 13,643	13,643				
	人工林長伐期複層 伐		(124.41) 19,263	19,263				
	人工林漸伐複層型		(34.14) 4,248	4,248				
	人工林択伐複層型		(167.40) 21,683	21,683				
	そ の 他		(18.86) 2,696	2,696				
計		(101.58) 52,128	(820.42) 110,484	162,612				
合 計		(107.44) 53,657	(996.25) 133,257	186,914	30,086	217,000		217,000
年 平 均		(21.49) 10,731	(199.25) 26,651	37,383	6,017	43,400		43,400

(注) 1 () 書きは伐採面積である。

(再掲) 市町村別内訳

(単位: m³)

市町村名	林 地					林地 以外	合計
	主伐	間伐	小計	臨時 伐採量	計		
豊橋市		11,463	11,463				
新城市	1,529	6,470	7,999				
設楽町	52,128	115,324	167,452				

(注) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まない。

(5) 更新総量

(単位: ha)

区 分		山地災害 防止タイプ°	自然維持 タイプ°	森林空間 利用タイプ°	快適環境 形成タイプ°	水源涵養 ^{かん} タイプ°	合計
人工 造林	単層林造成					183.21	183.21
	複層林造成	3.52					3.52
	計	3.52				183.21	186.73
天然 更新	天然下種第1類						
	天然下種第2類						
	計						
合計		3.52				183.21	186.73

(6) 保育総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ°	自然維持 タイプ°	森林空間 利用タイプ°	快適環境 形成タイプ°	水源涵養 ^{かん} タイプ°	合 計
保 育	下 刈					246.68	246.68
	つる切						
	除 伐			5.53		88.40	93.93
	枝 打						

3 林道の整備に関する事項

(単位：m)

基幹・ その他別	開設・ 改良別	路線名	林班・箇所	延長	備考	
基幹	改良	榎尾分水	40、41	1箇所	15	
		栃洞金沢（栃洞）	96～101	2箇所	20	
		計		3箇所	35	
その他	開設	榎尾分水支線	153、154、155	1箇所	1,300	
		出来山	88	1箇所	850	
		菜畑	90	1箇所	801	
		高松	115	1箇所	1,283	
		バラゴ沢	122、124	1箇所	1,100	
		多米	1245～1248	1箇所	1,450	
	計		6箇所	6,784		
	改良	改良	胡麻沢	166、167	1箇所	15
			返り水	172～174	3箇所	15
			澄川	163、170、174	1箇所	10
			駒ヶ原裏谷	26	1箇所	10
			裏谷第一	32	1箇所	10
			高松	113～115	1箇所	35
			藤立	65、66、68～71	5箇所	15
			西川	111	1箇所	10
			一の又	215、216	1箇所	10
			棚山	211	1箇所	15
			スズガタ	東栄町	1箇所	15
			神明	東栄町内、224、225	1箇所	15
			川合	220、221	1箇所	400
			八名	新城市内、238	2箇所	30
			駒ヶ原宇連	9、22	1箇所	15
			桶小屋第二	52～54	1箇所	20
			牛渡	90	1箇所	10
			鰻沢	76	1箇所	15
			滝洞	83	1箇所	150
計				26箇所	815	
合計	開設		6箇所	6,784		
	改良		29箇所	850		

(注) 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

4 治山に関する事項

(単位：保全施設 箇所、保安林の整備 ha)

位 置	区 分	工 種	計 画 量
桧原川 1、寒狭川上流 3、寒狭川上流 4 黄柳川 1、梅田川 1、豊川 1	保 全 施 設	溪 間 工	6
寒狭川上流 3、豊橋 1、梅田川 1	保 全 施 設	山 腹 工	3
東三河計画区管内の保安林区域内	保 安 林 の 整 備	保 安 林 改 良	374
合 計	保 全 施 設	溪 間 工	6
		山 腹 工	3
	保 安 林 の 整 備	保 安 林 改 良	374

- (注) 1 保全施設の計画量「箇所数」は「単位流域」数を表す。
 2 位置は単位流域を表す。
 3 災害復旧等緊急を要する工事については、指定箇所以外においても実行できる。

5 保護林の名称及び区域

(1) 保護林の名称及び区画

ア 希少個体群保護林

(単位：ha)

名称	新設 既設別	面積	位置 (林小班)	特徴等	施業等
段戸 モミ・ ツガ	既設	14.32	43ろ	モミ・ツガをはじめ ブナなどの混生した林 分である。	原則として、人為を加 えずに自然の推移に委ね ることとするが、当該個 体群の保護・増殖に必要な 森林施業は可能とする る。
面積計		14.32			

6 レクリエーションの森の名称及び区域

(1) 自然観察教育林

(単位：ha)

名称	既設 新設	面積	位置 (林小班)	選定 理由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
段戸	既設	274.38	36いろ・に・と・ち・ぬ〜か 37いろ・は、38いろ・ほ〜と 40ろ、44いろ・に、53いろ 54いろ・は・か・よ、55いろ 91いろ、92いろ・る〜れ 134いろ、153いろ・は・と・ち 154いろ・に、155いろ 156いろ ----- 36いろ・ほ・へ・り、38ろ 39、40いろ、41林班 42林班、43いろ、44いろ ----- 36いろ〜ハ、38いろ、40いろ・ロ 44いろ	愛知高原国定公園及び 段戸高原県立自然公園内 にあり、ヒノキ、スギ、 マツ等の針葉樹人工林と カシ、シイ等の広葉樹天 然林からなる豊かな森林 景観を呈する。本レクリ エーションの森は、名刹 として知られる定光寺、 瀬戸市定光寺公園、中小 企業大学校瀬戸校等が隣 接しており、行楽地とし て名古屋都市圏の野外レ クリエーションの場とな っている。 東海自然歩道も通って おり、自然探勝、ハイキ ング、森林浴、散策、自 然観察、キャンプ等 四季 を通じた利用に適してい る。	育成 複層林 施業 天然生 林施業 該当外	・歩道 (国・愛知県) ・教育施設 (豊川市) ・便所 (設楽町) ・釣り堀 (民間)		

(単位：ha)

名称	既設 新設	面積	位置 (林小班)	選定 理由	施業 方法	既存施設の 概要	施設 整備	備考
豊橋	既設	1,007.07	1216林班、1217ろ・は 1218い～へ、1219林班 1220林班、1221い～そ 1222い～ち 1224い～に～と 1225い～り 1226い～ろ・に～わ 1227い～は～と 1228い～ほ・り～る 1229い～に～と・り～か 1230ろ～と、1233い～ろ 1234に～ほ、1235ろ～に 1236い、1237い～ろ 1238い～へ、1239い～ち 1240い～ろ・に～へ～ち 1241い～に～へ・と・り～る 1242い～へ 1243い～へ・ち・ぬ～わ 1244い～は～ほ 1245い～は、1246い～へ 1247い～は 1248い～ろ・に 1249い～に、1250い～ほ 1251い～は～ほ 1252林班、1253い～ほ 1254い～は、1255い～ろ 1257い～ろ、1258い～ろ 1259い～ろ・は 1260林班 1261ろ・は～に～へ 1262ろ～か、 1263ろ・は～ほ 1264い～る、1265林班	石巻山多米県立自然公園内にあり、スギ、ヒノキを主とする人工林からなる。付近には国の天然記念物「石巻山石灰岩地植物群落」を有し、豊橋市内にある都市近郊林として、自然観察に適している。	育成 複層林 施業	・歩道 (国・豊橋市) ・駐車場 (豊橋市)		
			----- 1226は、1227ろ 1228へ～ち 1229ほ・へ～ち、1230い 1233は～に、1234い～は 1235い、1237は～ほ 1240は、1241ほ 1245に、1248は 1254ろ・に～ほ、1256い 1257は～に、1261い～ほ 1263い～に～へ～と		天然生 林施業			

(単位：h a)

名 称	既設 新設	面 積	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備考
豊 橋			1218イ～ハ、1221イ・ロ 1222イ、1225イ 1228イ・ロ、1229イ 1230イ 1233イ～ハ、1234イ・ロ 1235イ、1236イ 1237イ、1238イ・ロ 1239イ 1240イ・ロ、1241イ～ハ 1242イ、1243イ 1246イ、1247イ 1248イ、1249イ 1250イ～ハ、1253イ 1254イ～ハ、1255イ 1257イ～ハ、1258イ 1259イ、1261イ 1262イ～ハ、1263イ 1264イ～ニ		該当外			
面 積 計		1,281.45						

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域等

該当なし

8 その他必要な事項

(1) 施業指標林、試験地等

(単位：h a)

種 類	名 称	設定 年度	面 積	位 置 (林小班)	選 考
施 業 指標林	間 伐 推 進 施 業 指 標 林	S 6 1	3.77	14ㄖ	市場価値の高い材木を収穫する間伐及び残存林木の成長の推移を観察し、今後の間伐技術の向上の指標になる林分である。
試 験 地	田峰段戸スギ 人 工 林 収 穫 試 験 地	S 4 4	1.37	75ㄖ	成長量、収穫量、その他の資料を収集し林分構造の推移を解明する。
	高齢級人工林 ヒノキ成長 試 験 地	S 4 3	11.18	75い	高齢級ヒノキ人工林の成長における間伐の影響を調査する。
	段戸国有林 人工林ヒノキ 天然下種更新 実 験 林	H 7	11.00	79い	ヒノキの天然更新について更新状況の追跡調査を行い、事業実行上の指針を得る。
	裏谷ヒノキ人 工林施業比較 試 験 地	S 4 6	3.43	48い	相対幹距を間伐の尺度とするための総合的研究に資する。
	鰻沢1号ヒノ キ人工林施業 比較試験地	S 4 7	1.52	70は	同 上
	鰻沢2号ヒノ キ人工林施業 比較試験地	S 4 7	2.00	75い	同 上
	鰻沢3号ヒノ キ人工林施業 比較試験地	S 4 7	1.25	81と・ち	同 上

(単位：h a)

種 類	名 称	設定 年度	面 積	位 置 (林小班)	選 考
試験地	鰻沢4号ヒノ キ人工林施業 比較試験地	S 4 9	1.55	68㌿	相対幹距を間伐の尺度とするための 総合的研究に資する。
次 代 検定林	関名14号 関名15号	S 5 2	0.65	121㌿	精英樹クローンの交配種子を用い て養成した苗木を植栽し、精英樹の遺 传的素質を検定するための林分であ る。
	関名17号	S 5 3	1.92	20㌿	同 上
	関名18号	S 5 4	0.57	20㌿	精英樹選抜による育種効果を十分 に発揮させるため、現在の育種区を 見直して行くことを検定するための 林分である。
	関名27号	H 2	0.44	53㌿	精英樹クローンの交配種子を用い て養成した苗木を植栽し、精英樹の遺 传的素質を検定するための林分であ る。
	関名28号	H 3	0.58	54㌿	精英樹選抜による育種効果を十分 に発揮させるため、現在の育種区を 見直して行くことを検定するための 林分である。
	関名29号	H 1 3	1.09	117㌿	精英樹のうち、特に成長、材質及 び諸害への抵抗性等に優れた精英樹 同士の人工交配による実生苗の検定 のための林分である。
	関名30号	H 1 4	0.36	90㌿	同 上
	関名31号	H 1 6	0.37	26㌿	同 上

(単位：h a)

種 類	名 称	設定 年度	面 積	位 置 (林小班)	選 考
精英樹 保護林	スギ新城4号	S 3 7	0.47	234ㄱ	現存林木の中から成長、形質の特に優れた個体を精英樹として選出し、それらを保護、保存するための林分である。
	スギ新城6号	S 4 1	0.30	65ぬ	同 上
	スギ新城7号	S 4 1	0.18 0.38	65ㄹ 66へ	同 上
	ヒノキ 新城1号	S 3 0	0.36	69ㄴ	同 上
	ヒノキ 新城2号	S 3 0	0.59	153い	同 上
	ヒノキ 岡崎1号	S 3 1	0.25	1220は	同 上
森林施 業モデ ル 林	水源かん養タ イプモデル林	H 1 2	2.00	65か・よ	公益的機能重視の森林施業の取り組みを国民に分かりやすくアピールするために設定するモデル林である。

(2) フィールドの提供

ア ふれあいの森

(単位：ha)

名 称	面 積	位 置 (林小班)	設 定 の 目 的 等
名古屋シティ・フォレスター倶楽部の森 (平成11年度設定)	2.63	35は	協定相手方：特定非営利活動法人名古屋シティ・フォレスター倶楽部 協定期間：平成34年度末まで (平成29年度末更新) 目 的：ボランティア団体等が行う自主的な森林整備を推進するためのフィールドとして提供する。
中日森友隊の森 (平成11年度設定)	0.96	35ほ	協定相手方：中日森友隊 協定期間：平成34年度末まで (平成29年度末更新) 目 的：ボランティア団体等が行う自主的な森林整備を推進するためのフィールドとして提供する。
穂の国みんなの森 (平成13年度設定)	2.39	121ち	協定相手方：特定非営利活動法人穂の国森づくりの会 協定期間：平成34年度末まで (平成29年度末更新) 目 的：ボランティア団体等が行う自主的な森林整備を推進するためのフィールドとして提供する。
穂の国石巻の森 (平成22年度設定)	0.60	1220か	協定相手方：特定非営利活動法人穂の国森づくりの会 協定期間：平成34年度末まで (平成29年度末更新) 目 的：ボランティア団体等が行う自主的な森林整備活動のフィールドとして提供する。
計	6.58		

イ 多様な活動の森

(単位：ha)

名 称	面 積	位 置 (林小班)	設 定 の 目 的 等
多米の里山森づくり (平成24年度設定)	7.65	12374 1238ハ 1238ロ 1240ホ 1240イ 1241ニ 12414	協定相手方：多米の里山づくりを楽しむ会 協定期間：平成34年度末まで (平成29年度末更新) 目 的：ボランティア団体等が行う歩道の 草刈、自然観察、美化活動などの森 林の保全活動のフィールドとして提 供する。
計	7.65		

(3) 森林共同施業団地

該当なし